

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

大野市陽明中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 地域代表 校区区長会代表者 (1)
地域学識経験者 (1)
地域公民館長 (1)
地域会社経営者 (2)
- 家庭代表 PTA本部役員 (1)
保護者〈地域代表と兼ねる〉 (2)
- 学校代表 校長・教頭・教務 (3)
公民館長に地域コーディネーターを依頼

(2) 協議会の開催計画

- ①開催回数 3回
- ②開催日程・協議内容
 - ・教育活動，地域連携のあり方 (8月)
 - ・教育活動，地域連携のあり方 (12月)
 - ・学校関係者評価の実施と分析 (3月)

(3) 協議会における成果と課題

成果は、地域代表・家庭代表の全ての会員から、我々の日々の勤務だけでは気が付かないような指摘を幾つもしていただけることである。課題としては、日程調整が難しく、全員が集う機会に巡り合えないことである。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

生徒が生まれ育った地域で主体的な体験活動を通して、故郷に誇りや愛着を持ち、将来故郷の後継者となりうる生徒を育成する。

(2) 活動の実際

① 木瓜川ダックレース

学校の近くにある木瓜川で、毎年7月下旬におもちゃのダックを流し、その到着順位を競うレースが行われている。地域住民にとっては、盛夏の風物詩になりつつあり、生徒にとっても、小学校の頃、自分のダックを必死になって応援した思い出もある、つながりの深い行事である。

今年度も、昨年度同様この思い出あるイベントに、「参加して楽しむ」のではなく、「運営に協力して楽しんでもらう」というスタンスで関わろうということになった。この事業の地域コーディネーターである下庄公民館長と打ち合わせをすると、以下のような点での活動が見えてきた。

- 昨年度同様、土手の環境整備の手伝いをしてもらえると、とてもありがたい。
- 今年度は生物観察会も行うので、その時にアシスタントをしてもらえるとありがたい。
- 生徒の発想を生かしたポスター作りができるといいのではないかと。などである。

まず、ボランティア委員会が購入したPCで呼びかけポスターを作り全校に呼びかけ、土手の環境整備に、自然部の生徒を始めとする10数名の生徒が協力することとなった。今年度は1年生の協力が多く、今後に向けていい兆しになる手ごたえを感じた。また事前打ち合わせには、今年度新採用として下庄公民館に配属された主事(陽明中OB)が携わることとなり、公民館職員&中

学生&教員がとてもフレンドリーな感じで前向きな話ができたとありがたかった。公民館主事から「昨年度の反省に基づき、中学生にとって短時間で効果的な活動になるように、事前に機械を用いて下草刈りを行い、活動当日は、主にその運搬収集に頑張ってもらおう手はずになっています。」とのお話があり、中学生のことを慮っていただき、ありがたい限りであった。

さて活動当日となった。今年度も大変暑い日となり、事前準備をしてくださっているとはいえ、生徒達にはかなりの重労働であった。加えてものすごい量の草でその大変さは右の写真からも明らかである。しかし、参加生徒達は昨年度作成したのぼり旗の下、意識高く黙々と土手の草とりや、整地等を頑張った。その後の生物観察会では、自然部の生徒が意気揚々と、アシスタントを努めた。



残念だったのは、レース当日が台風の影響で、中止になってしまったことである。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・各活動における関係団体との連絡調整を行った。
- ・学校の思いをくみ取り、運営組織にその思いを伝え、実現可能な方向を模索した。

(4) 特に工夫した事項

- ・「中学生ならでは」の業務を発掘すること

(5) 成果と課題

意欲的に活動に参加した生徒は、達成感・成就感を大いに味わうことができ、教育的意義が高い事業だと感じる。ただ、今年度は台風の影響をとてもうけた1年であった。安定感のある活動にするためには、屋内の行事中心に計画・遂行していく必要がある。